

## 7-6-2 確認指標の設定

市内の公共交通の運行の妥当性を確認し、運行改善や公共交通網の再編に活用するための指標として以下の指標を確認指標として設定し、数値を毎年モニタリングします。なお、確認指標は目標に基づく指標ではなく参考的な指標であるため、目標値は設定しません。

表：確認指標と参考値

指標		参考値	備考・データの取得方法等
指標①	公共交通の利用者 1人あたり運行経費	1,372円/人 (令和6年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の運行にかかる経費を公共交通の総利用者数で除して算出</li> <li>利用者数は乗車の合計で算出</li> </ul>
指標②	公共交通の収支率	4.2% (令和6年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>協賛金を含む公共交通の収入を公共交通の運行にかかる経費で除して算出</li> </ul>
指標③	公共交通の 人口カバー率	99.6% (令和7年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の人口カバー率は、地域内の駅・バス停、デマンド型交通の乗降場所などから一定の距離の圏域(徒歩圏内)でカバーできる人口の割合</li> <li>駅は半径800m、バス・デマンド型交通の乗降場所は半径300mを徒歩圏内とする</li> <li>人口は、算出時の最新の国勢調査のデータを活用</li> <li>参考値は令和7年10月1日時点の数値で、実証実験中のデマンド型交通の停留所を含めて算出</li> </ul>

## 7-7 目標を達成するために行う事業及び事業主体・計画期間

### 7-7-1 施策の方向性

計画の3つの基本方針にそって施策の方向性を定め、具体的な事業及び事業主体・計画期間を明確にして事業を推進します。

表：基本方針と施策の方向性

基本方針	施策の方向性
<b>基本方針1</b> 地域特性や移動ニーズに対応し、多様な主体と連携した使いやすい地域公共交通網の形成	1) 地域特性や利用特性に応じた改善
	2) 乗り継ぎ環境の改善
	3) 他分野との連携
	4) 周辺自治体との連携
<b>基本方針2</b> 継続的な利用促進策等の取組みの展開による地域公共交通の維持・活性化	1) 料金負担の軽減
	2) 分かりやすい情報提供
	3) 利用するきっかけの創出
<b>基本方針3</b> 地域住民や行政、交通事業者、市内企業等の関係者が協働・連携し、持続可能な地域公共交通を創り、支える環境の形成	1) 多様な主体の協働・連携
	2) 地域公共交通を創り、支える



### 3) 他分野との連携

実施事業(案)	関係主体(案) ●:実施主体 ○:連携主体	実施スケジュール(年度)(案)					
		R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
① タクシーと福祉分野等との連携	●市、交通事業者(タクシー)	福祉タクシー料金助成事業の継続実施 —————→					継続
		様々な分野との連携可能性の検討 - - - - -→					
② ささえあいセンターによる買い物支援サービスの提供	●市、ささえあいセンター	※適宜検討・実施 —————→					継続
③ スクールバスとの連携	●市、交通事業者(バス、デマンド型交通)	- - - - -→					継続

### 4) 周辺自治体との連携

実施事業(案)	関係主体(案) ●:実施主体 ○:連携主体	実施スケジュール(年度)(案)					
		R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
① 飛島村との連携	●市、飛島村、交通事業者(デマンド型交通)	※適宜検討・実施 —————→					継続
② 木曾岬町との連携	●市、木曾岬町 ○交通事業者(鉄道)	※適宜検討・実施 —————→					継続

- - - - -> : 検討      ———> : 実施



**基本方針 3：地域住民や行政、交通事業者、市内企業等の関係者が協働・連携し、持続可能な地域公共交通を創り、支える環境の形成**

**1) 多様な主体の協働・連携**

実施事業(案)	関係主体(案) ●:実施主体 ○:連携主体	実施スケジュール(年度)(案)						
		R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期	
① 講演会や講習会の開催	●市、市民 ○交通事業者(鉄道、バス、デマンド型交通、タクシー)、国、愛知県	※適宜検討・実施 →						継続
② 快適な公共交通の待合環境の創出	●市、市民 ○施設管理者、交通事業者(バス、デマンド型交通)	※適宜検討・実施 →						継続

**2) 地域公共交通を創り、支える**

実施事業(案)	関係主体(案) ●:実施主体 ○:連携主体	実施スケジュール(年度)(案)						
		R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期	
① 弥富市地域公共交通活性化協議会の開催	●市、市民、交通事業者(バス、デマンド型交通、タクシー)、国、愛知県、飛島村、木曾岬町	※毎年実施 →						継続
② 公共交通に関する勉強会の開催	●市、市民 ○交通事業者(鉄道、バス、デマンド型交通、タクシー)、国、愛知県	※公共交通網の見直し時等に実施 →						継続
③ 協賛金事業の展開	●市、市民、市内の施設・店舗、交通事業者(バス、デマンド型交通)	※適宜検討・実施 →						継続

■ ■ ■ ■ : 検討      → : 実施

### 7-7-3 実施事業の概要

## 基本方針1：地域特性や移動ニーズに対応し、多様な主体と連携した使いやすい地域公共交通網の形成

### 1) 地域特性や利用特性に応じた改善

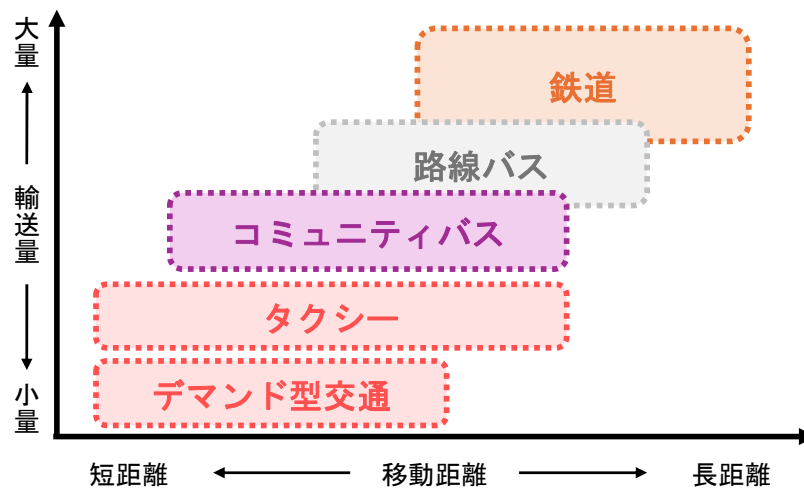
#### ① 地域特性や利用特性に応じた運行改善

##### ◆事業概要

各公共交通（鉄道、きんちゃんバス、デマンド型交通、タクシー）の役割を踏まえ、まちづくり等の関連計画と連携しつつ、地域特性や利用状況に応じ、ダイヤや運行ルート、バス停位置等の運行内容の妥当性を検証し、より効果的で効率的な地域公共交通網へと改善します。

きんちゃんバスやデマンド型交通については地域公共交通確保維持改善事業（地域内リーダー系統確保維持費国庫補助金）を活用し、市民の生活行動における重要な移動手段として確保・維持します。

タクシーについて、自宅等を起終点とした市内唯一の「ドア・ツー・ドアの個別輸送機関」であり市民にとって必要不可欠な公共交通であるため、現状の運行を維持するための取組みを検討・推進しつつ、さらに利用しやすい公共交通となるよう買い物や教育、観光、医療など様々な分野と連携した取組みを検討・推進します。



図：公共交通の種類と特徴

##### ◆関係主体

●実施主体：市、交通事業者（鉄道、バス、デマンド型交通、タクシー）

○連携主体：市民

※きんちゃんバスとデマンド型交通の運行については交通事業者へ委託

##### ◆実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜検討・実施					継続

⋯⋯➡ : 検討 ➡ : 実施

##### ◆関連し実施する調査等

・利用実態調査（きんちゃんバス）

## ②きんちゃんバスの運行

### ◆事業概要

南部コミュニティセンターや愛知黎明高校等の主要な施設等の、通勤、通学需要に対応した中心部への幹線系統、そして鉄道駅と接続する交通としての運行を継続し、地域のニーズ・利用状況等を踏まえ定期的に運行内容の見直しを検討します。

また、限られた資金の中で、市民の生活行動における重要な移動手段として確保・維持するため、利用状況や収支状況等を基に運行手段等についても検討します。

令和7年10月から実験的に運行している夜便（21時台、22時台）について、利用状況等を適切に評価し継続の必要性や代替手段を検討します。

### ◆関係主体

●実施主体：市、交通事業者（バス）

○連携主体：市民

※きんちゃんバスの運行については交通事業者へ委託

### ◆実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜検討・実施					継続

⋯⋯⋯➡ : 検討    ➡ : 実施

### ◆関連し実施する調査等

- ・利用実態調査（きんちゃんバス）、決算書、アンケート調査等による社会実験評価、公共交通に関する勉強会

### ③デマンド型交通の運行

#### ◆事業概要

広域幹線への接続や中心市街地への移動として、令和7年10月から市内全域で実証実験運行をしているデマンド型交通（チョイソコやとみ）について、地域の移動ニーズや利用実態等を踏まえながら、公共交通活性化協議会での協議や交通事業者等との調整を通して、本格導入に向けての検討を進め、自家用車に頼らなくても移動できる交通環境づくりを目指します。

#### ◆関係主体

- 実施主体：市、交通事業者（デマンド型交通）
- 連携主体：市民
- ※デマンド型交通の運行については交通事業者へ委託



図：デマンド型交通（チョイソコやとみ）

#### ◆実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※R8.10～本格導入。以降適宜検討・実施					継続

⋯⋯⋯➡ : 検討    ➡ : 実施

#### ◆関連し実施する調査等

- ・利用実態調査（きんちゃんバス）、決算書、アンケート調査等による実証実験評価、公共交通に関する勉強会

## 2) 利用環境の改善

### ① JR・名鉄弥富駅北口駅前広場の整備による乗り継ぎ環境の向上

#### ◆事業概要

現在、JR・名鉄弥富駅では、自由通路・橋上駅舎化事業にあわせた北口駅前広場の整備検討が進められています。また、弥富駅周辺地区は弥富市立地適正化計画における都市機能誘導区域に位置づけられており、公共交通相互の連携は非常に重要となってきます。そこで、JR・名鉄弥富駅北口駅前広場の整備に合わせ、きんちゃんバスのバス停設置と乗り入れを検討するとともに、快適な待ち合い環境を形成するなど、乗り継ぎ環境の向上を図ります。

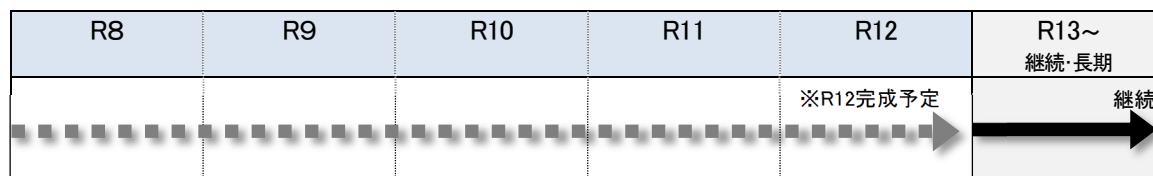


図：JR・名鉄弥富駅北口駅前広場の整備イメージ（当初計画）

#### ◆関係主体

- 実施主体：市、交通事業者（鉄道、バス）

#### ◆実施スケジュール



-----> : 検討      -> : 実施

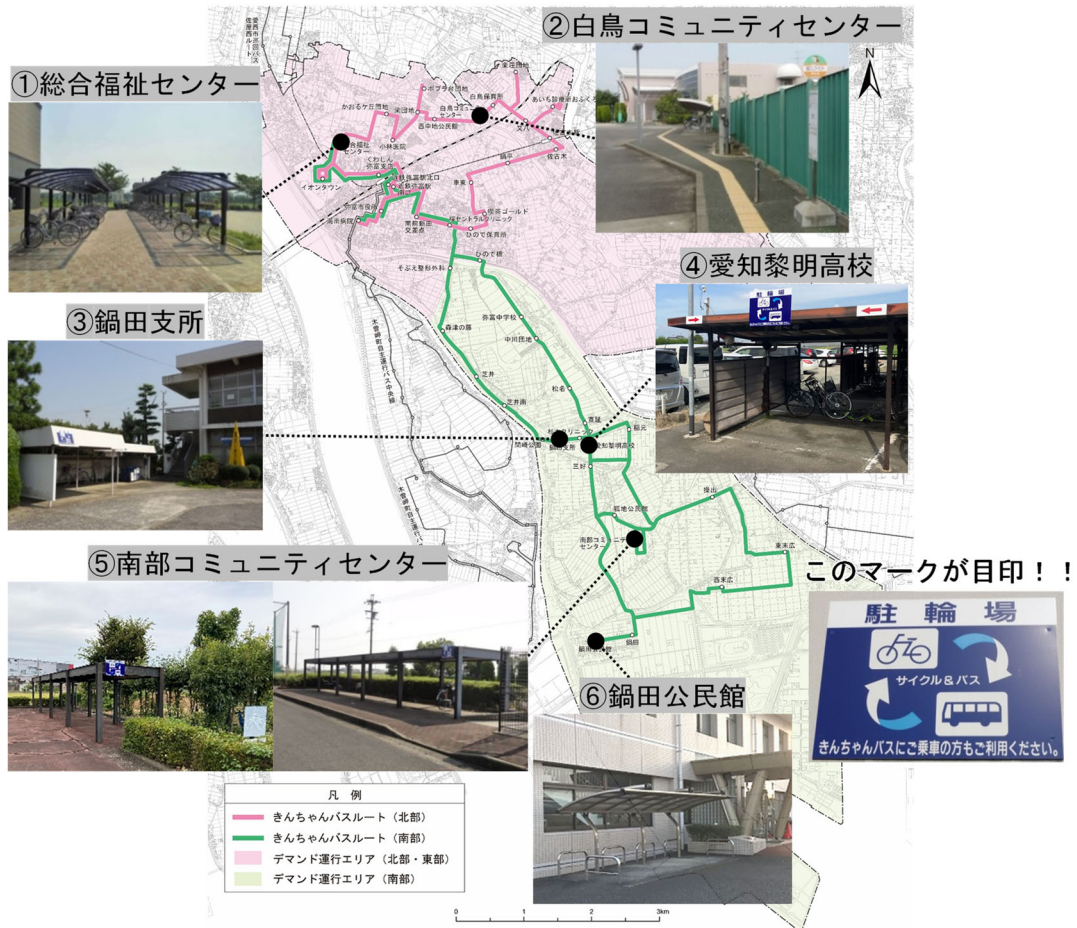
#### ◆関連し実施する調査等

- ・利用実態調査（きんちゃんバス）

## ②サイクル&バスライド駐輪場の設置

### ◆事業概要

バス利用者の利便性の向上と新たな需要の掘り起こしを目的に、サイクル&バスライド駐輪場を市内の主要な公共施設6箇所に設置しています。今後も主要施設の既存駐輪場を有効活用するなど、サイクル&バスライド駐輪場の拡大を図り、利便性を向上することで利用促進を図ります。



図：現在のサイクル&バスライド駐輪場の設置状況

### ◆関係主体

- 実施主体：市
- 連携主体：交通事業者（バス）、施設管理者

### ◆実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜拡大検討・実施					継続

-----> : 検討      > : 実施

### ◆関連し実施する調査等

- ・サイクル&バスライド駐輪場設置数

### ③乗り継ぎバス停環境の改善

#### ◆事業概要

鉄道駅などの乗り継ぎに利用されるバス停やデマンド型交通の乗り継ぎ地点となっている停留所において、案内表示や上屋、ベンチ等の整備により、乗り継ぎ環境を改善し快適性を向上することで利用促進を図ります。

#### ◆関係主体

- 実施主体：市
- 連携主体：交通事業者（バス、デマンド型交通）、施設管理者

#### ◆実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜拡大検討・実施					継続

 : 検討
  : 実施

#### ◆関連し実施する調査等

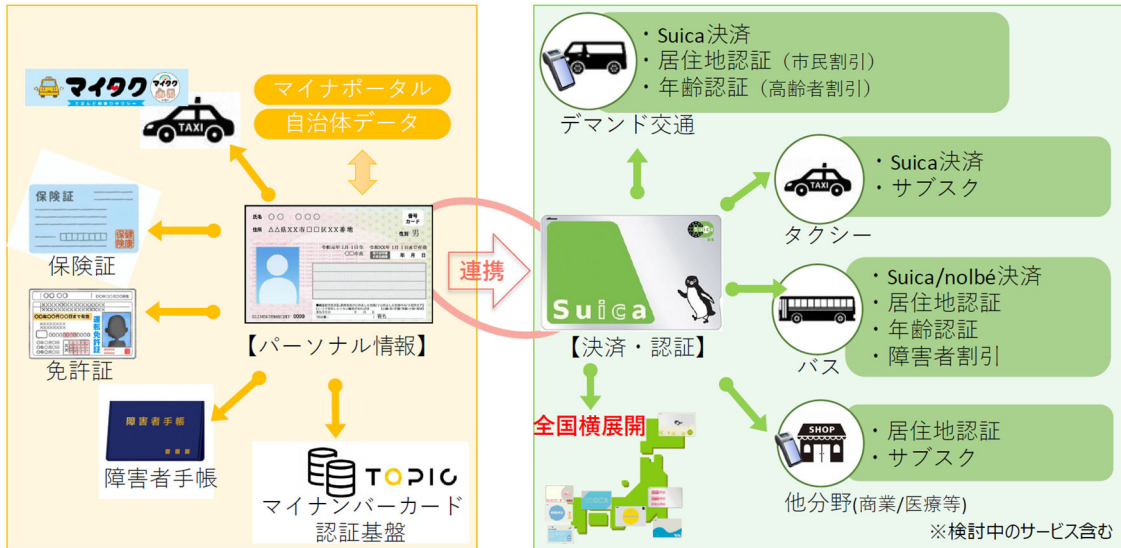
- ・利用実態調査（きんちゃんバス）、バス停環境改善数

#### ④キャッシュレス決済の推進とマイナンバーカードとの連携

##### ◆事業概要

デマンド型交通（チョイソコやとみ）においてはキャッシュレス決済の導入を継続するとともに、きんちゃんバスにおいてもキャッシュレス決済を導入し、小銭を持つ煩わしさの軽減やスムーズな乗降を可能にすることで利便性の向上を図ります。

また、マイナンバーカードとの連携による運営の効率化を目指し、随時情報収集をしながら関係事業者と導入に向けた検討を進めます。（例：利用者情報の一元管理による高齢者割引やタクシー助成券・回数券等のデジタル化など）



※資料：デジタル庁（前橋市Ma e M a a Sの取り組み）

図：マイナンバーカードとの連携イメージ（前橋市事例）

##### ◆関係主体

- 実施主体：市、交通事業者（バス、デマンド型交通、タクシー）
- 連携主体：国、愛知県

##### ◆実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※きんちゃんバスのキャッシュレス決済の導入					
※マイナンバーカードとの連携					

-----> : 検討    > : 実施

##### ◆関連し実施する調査等

- ・利用実態調査（きんちゃんバス）、キャッシュレス決済・マイナンバーカードとの連携・導入実績

## ⑤MaaSの導入

### ◆事業概要

複数の公共交通サービスを組み合わせた経路探索や、鉄道・バス・デマンド型交通・タクシー等と施設・店舗情報を組み合わせた様々な電子チケットを購入できるサービスの提供を目指し、随時情報収集をしながら関係事業者とMaaS<sup>\*</sup>の導入に向けた検討を進めます。

※MaaS（マース：Mobility as a Service）：複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済を一括で行うサービス



※資料：MaaS入門ガイドブック（国土交通省、令和4年11月）

図：MaaSの概念

### ◆関係主体

- 実施主体：市、交通事業者（鉄道、バス、デマンド型交通、タクシー）
- 連携主体：国、愛知県

### ◆実施スケジュール



-----> : 検討      → : 実施

### ◆関連し実施する調査等

- ・利用実態調査（きんちゃんバス）、MaaSの導入実績

### 3) 他分野との連携

#### ① タクシーと福祉分野等との連携

##### ◆ 事業概要

「心身障がい者福祉タクシー料金助成事業」や「高齢者等福祉タクシー料金助成事業」を今後も継続的に実施し、心身障がい者（児）や要介護認定者、要支援認定者など1人で移動できず、きんちゃんバスも利用できない方などの移動を支えます。

また、買い物や教育、観光、医療、物流など様々な分野との連携可能性について、全国的な事例等を確認しながら検討します。

##### ◆ 関係主体

- 実施主体：市、交通事業者（タクシー）

##### ◆ 実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
福祉タクシー料金助成事業の継続実施					継続
様々な分野との連携可能性の検討					

-----> : 検討      -> : 実施

##### ◆ 関連し実施する調査等

- ・ 料金助成事業の利用状況

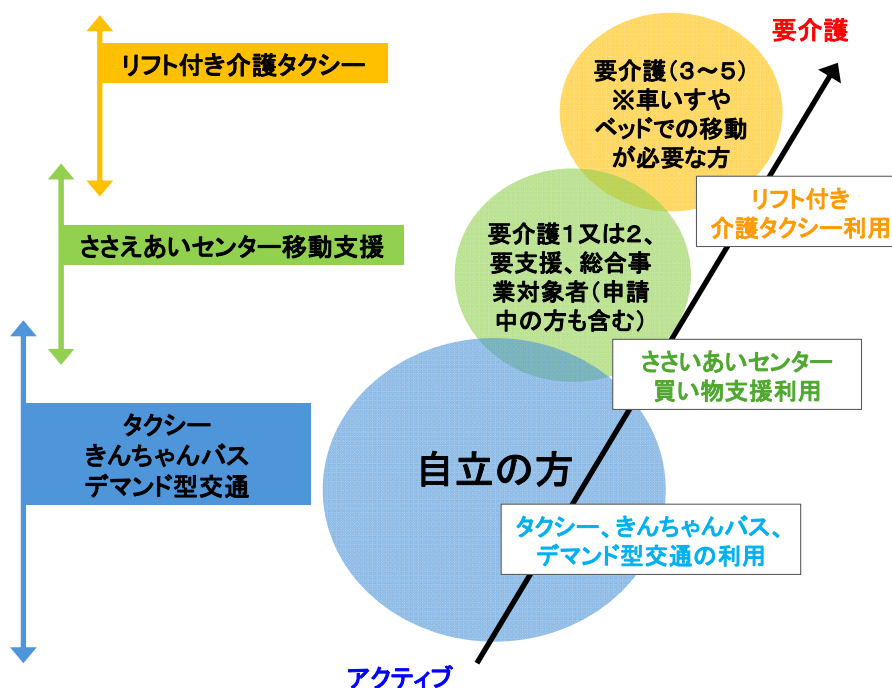
## ② ささえあいセンターによる買い物支援サービスの提供

### ◆ 事業概要

弥富市において展開している福祉タクシー料金助成事業等では、買い物など日常生活を支えるには不十分である状況が現在も続いており、今後も状況は継続することが予想されます。そこで、ささえあいセンターが主体となって令和3年から実施している、買い物と移動サポートをセットにした買い物支援サービスの提供を継続し、1人での外出・移動が困難な方の移動手段を確保するとともに、より一層の外出機会の創出を促進します。



図：買い物支援サービスの車両



図：買い物支援サービスのターゲットイメージ

### ◆ 関係主体

- 実施主体：市、ささえあいセンター

※道路運送法施行規則第49条の2の福祉有償運送

### ◆ 実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜検討・実施					継続

⋯⋯ : 検討    → : 実施

### ◆ 関連し実施する調査等

- ・ 買い物支援サービス利用者数

### ③スクールバスとの連携

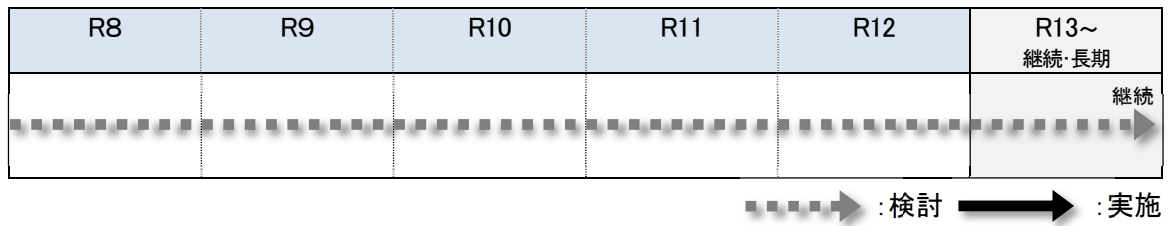
#### ◆事業概要

令和10年4月の弥富市立よつば小学校の開校にあたってスクールバスの導入を検討しており、きんちゃんバスやデマンド型交通（チョイソコやとみ）との連携可能性について、全国的な動向に関する情報収集をしつつ、教育委員会や交通事業者と調整・検討します。

#### ◆関係主体

●実施主体：●市、交通事業者（バス、デマンド型交通）

#### ◆実施スケジュール



#### ◆関連し実施する調査等

—

## 4) 周辺自治体との連携

### ① 飛島村との連携

#### ◆ 事業概要

本市周辺で運行されている飛島公共交通バスは、都市間幹線として近鉄蟹江駅まで乗り入れており、今後フィーダー系統としての本格運行を見据えているデマンド型交通にとっても重要な路線の1つです。そこで、市民ニーズ等も踏まえ、デマンド型交通の飛島村への乗り入れ等を検討し乗り継ぎ環境を改善することで相互の利用促進を図ります。

また、海南病院通院支援タクシーとして運行している乗合タクシーについて、今後飛島村と連携しながら市民の日常生活の移動の足としての活用可能性を検討していきます。

#### ◆ 関係主体

- 実施主体：市、飛島村、交通事業者（デマンド型交通）

#### ◆ 実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜検討・実施					継続

⋯⋯⋯ : 検討    → : 実施

#### ◆ 関連し実施する調査等

- ・ デマンド型交通の運行データによる確認

### ② 木曽岬町との連携

#### ◆ 事業概要

本市周辺で運行されている木曽岬町自主運行バスは木曽岬町と近鉄弥富駅を結ぶ生活交通路線として運行されています。また、木曽岬町民のイオンタウンへのアクセス要望もあることから、きんちゃんバスとの乗り継ぎも重要となりますが、木曽岬町自主運行バスは近鉄弥富駅北口、きんちゃんバスは近鉄弥富駅南口にアクセスしており、乗り継ぎするには不便な状況となっています。

そこで、木曽岬町自主運行バスを近鉄弥富駅南口へとアクセスさせ、あわせて乗り継ぎダイヤの調整をすることで乗り継ぎ環境を改善し、相互の利用促進を図ります。



図：木曽岬町自主運行バス  
(近鉄弥富駅北口)

#### ◆ 関係主体

- 実施主体：市、木曽岬町
- 連携主体：交通事業者（鉄道）

#### ◆ 実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜検討・実施					継続

⋯⋯⋯ : 検討    → : 実施

#### ◆ 関連し実施する調査等

- ・ 利用実態調査（きんちゃんバス）

## 基本方針2：継続的な利用促進策等の取組みの展開による地域公共交通の維持・活性化

### 1) 料金負担の軽減

#### ① 定期券、回数券等の販売

##### ◆ 事業概要

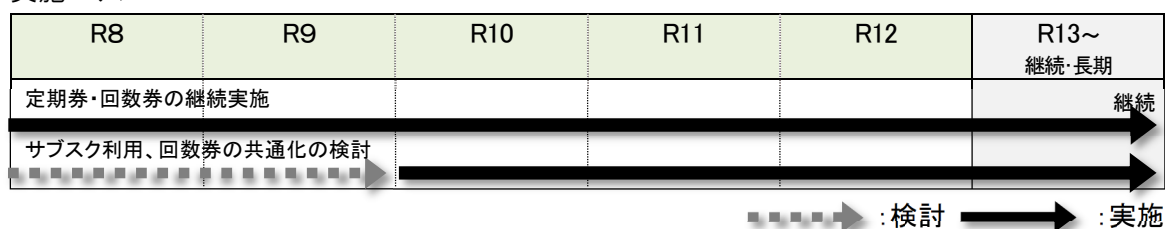
きんちゃんバスにおいて、通勤・通学など利用頻度の多い方に対応した定期券や便利な回数券の販売を継続します。回数券についてはデマンド型交通やタクシーなどの市内の全ての公共交通で共通して使える共通券の検討を推進します。

また、デマンド型交通（チョイソコやとみ）において、お得な1日乗車券の販売や定額利用（サブスク利用）の導入を検討するなど、料金負担の軽減を図ることで利用促進するとともに、買い物やお出かけなどの市内移動の活性化を図ります。

##### ◆ 関係主体

- 実施主体：市、交通事業者（バス、デマンド型交通、タクシー）

##### ◆ 実施スケジュール



##### ◆ 関連し実施する調査等

- ・ 利用実態調査（きんちゃんバス）、料金等収入状況

#### ② 高齢者や障がい者等への料金負担軽減策の調査・研究

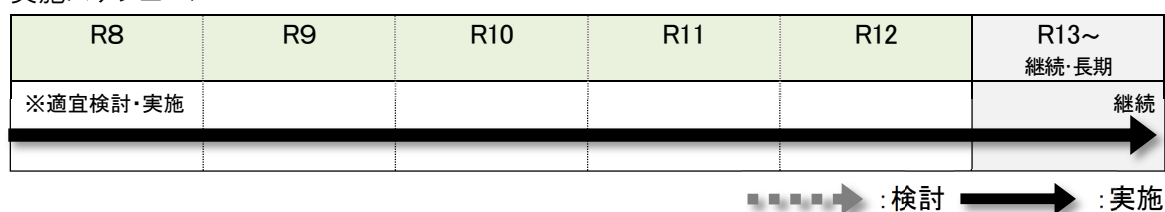
きんちゃんバスにおいて、65歳以上の方を対象としたシルバーパスや75歳以上の方と運転免許返納者を対象としたゴールドパス等の割引定期券の配布、障がい者と同伴の介護者（1名まで）の運賃無料化について、継続的に実施します。

また、きんちゃんバスとデマンド型交通（チョイソコやとみ）のそれぞれが提供するサービス水準の違いも鑑みつつ、全国的な好事例や効果等を調査しながら、高齢者における新たな負担軽減策の導入を検討します。

##### ◆ 関係主体

- 実施主体：市、交通事業者（バス、デマンド型交通）

##### ◆ 実施スケジュール



##### ◆ 関連し実施する調査等

- ・ ゴールドパス・シルバーパス販売数、料金等収入状況

## 2) 分かりやすい情報提供

### ① 分かりやすい時刻表の作成、配布

#### ◆ 事業概要

ダイヤや運行ルートの改正時に、改正内容や乗り継ぎダイヤ等が分かりやすい時刻表や持ち運びに便利なポケット時刻表を作成し、利用促進を図ります

また、紙媒体に加え、インターネットによる周知・情報提供の充実を図ります。

さらに、転入者に対して転入手続の際に他の書類等と一緒に時刻表やパンフレットを窓口で手渡しすることや多言語表示・案内による情報提供によって新規利用者の獲得を図ります。



図：きんちゃんバス時刻表（令和7年10月時点）



図：チョイソコやとみパンフレット抜粋

#### ◆ 関係主体

- 実施主体：市
- 連携主体：交通事業者（バス、デマンド型交通）

#### ◆ 実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13～ 継続・長期
※適宜検討・実施					継続

⇨ : 検討 ⇨ : 実施

#### ◆ 関連し実施する調査等

## ②乗継停留所等への乗り継ぎ時刻表等掲示

### ◆事業概要

きんちゃんバスやデマンド型交通（チョイソコやとみ）、本市周辺で運行されている木曾岬町自主運行バス、飛島公共交通バス等との乗り継ぎが可能なバス停や停留所に乗り継ぎ時刻表等を掲示し、利便性を向上することで相互の充実を図ります。

### ◆関係主体

- 実施主体：市、飛島村、木曾岬町、交通事業者（バス、デマンド型交通）

### ◆実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜検討・実施					継続

-----> : 検討      -> : 実施

### ◆関連し実施する調査等

—

## ③広報誌や市ホームページ等多様な媒体による情報提供

### ◆事業概要

市内の公共交通だけでなく、本市周辺で運行されている木曾岬町自主運行バス、飛島公共交通バス等の情報を広報誌や本市HPなど多様な媒体による情報提供することで、市民が周辺自治体が運行するバスの情報をより容易に入手できる環境を整備し、利用促進を図ります。

また、木曾岬町や飛島村のHPにもきんちゃんバスやデマンド型交通（チョイソコやとみ）の情報を掲載することで、周辺自治体の住民がきんちゃんバス等の情報をより容易に入手できる環境を整備し、利用促進を図ります。



図：広報やとみ

### ◆関係主体

- 実施主体：市、飛島村、木曾岬町
- 連携主体：交通事業者（バス、デマンド型交通）

### ◆実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜検討・実施					継続

-----> : 検討      -> : 実施

### ◆関連し実施する調査等

—

#### ④バス運行情報の提供

##### ◆事業概要

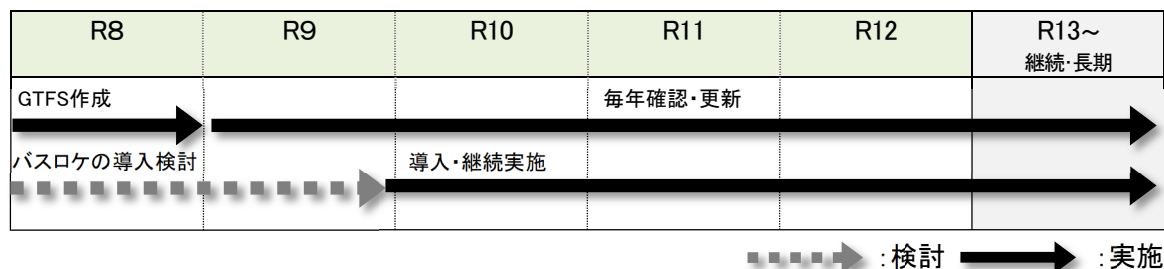
現在、きんちゃんバスの運行情報は、駅すばあとやNAVITIMEなどの検索サイトで調べることができますが、標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）でのデータ整備を行うことで、乗り継ぎ案内等の情報を入手しやすい環境を整備するとともに運行データのオープン化が可能となり、運行内容の見直し検討時の省力化を図ります。

また、きんちゃんバスにおいてバスの位置情報をリアルタイムに確認できるバスロケーションシステムの導入を検討します。これによって主要施設においては、バスロケーションシステムと連携し、バス到着や出発のお知らせを案内するなど、利便性の向上を図ります。

##### ◆関係主体

- 実施主体：市、交通事業者（バス）

##### ◆実施スケジュール



##### ◆関連し実施する調査等

- ・標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）やバスロケーションシステムの導入状況

### 3)利用するきっかけの創出

#### ①主要施設への情報掲示

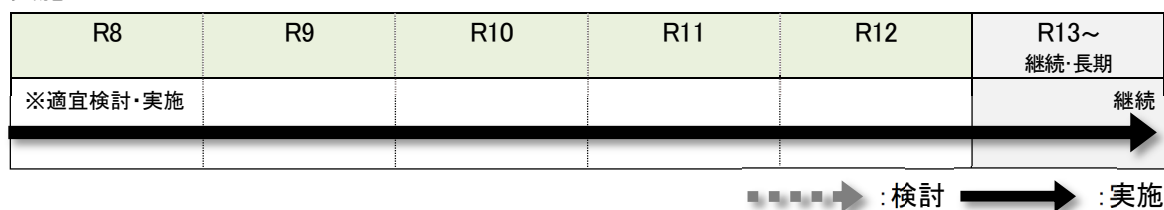
##### ◆事業概要

施設や店舗など市内の主要施設にきんちゃんバスの時刻表やデマンド型交通（チョイソコやとみ）のパンフレット、会員登録申込書等の情報を掲示し、公共交通の利用促進を図ります。

##### ◆関係主体

- 実施主体：市
- 連携主体：交通事業者（バス、デマンド型交通）、施設管理者

##### ◆実施スケジュール



##### ◆関連し実施する調査等

- ・主要施設への情報の掲示状況

## ②イベントと連携した公共交通の周知・活用

### ◆事業概要

市内で開催されるお祭り等のイベントの場できんちゃんバスやデマンド型交通（チョイソコやとみ）の車両の展示や啓発品の配布等を通して周知活動を展開し、利用したことのない方々がきんちゃんバスやデマンド型交通（チョイソコやとみ）を知るなど利用するきっかけを創出することで利用促進を図ります。



図：イベント時の周知活動

また、デマンド型交通（チョイソコやとみ）を活用したお出かけイベントを企画し、デマンド型交通（チョイソコやとみ）の利用を促すとともに、お出かけ機会の創出を図ります。

図：デマンド型交通（チョイソコやとみ）を活用したお出かけイベント（令和5年度実験時）

### ◆関係主体

- 実施主体：市
- 連携主体：交通事業者（バス、デマンド型交通）、市民

### ◆実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜検討・実施					継続

.....➡ : 検討    ➡ : 実施

### ◆関連し実施する調査等

- ・イベント等における周知活動の実施状況

### ③エコ モビリティ ライフの推進

#### ◆事業概要

あいちエコモビリティライフ推進協議会（事務局：愛知県）が推進する、クルマ（自家用車）と鉄道・バス等の公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分け、環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイル「エコ モビリティ ライフ」（通称：エコモビ）と連携し、週に1回、月に1回でも公共交通を利用するきっかけを創出することで過度なクルマ利用を控え、健康や環境等にやさしい行動を促し、あわせて地域公共交通の利用促進を図ります。

**はじめよう！ 環境にやさしい交通行動**  
**エコモビ**  
あいち エコ モビリティ ライフ

電車・バスで安全、スムーズに  
自転車・徒歩で健康、爽快に  
クルマは相乗り、エコドライブで

「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ)とは？  
環境の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」をつなげた言葉で、クルマと公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイルをいいます。皆さん一人ひとりが、「エコモビ」を実践することにより、地球環境にやさしいだけでなく、安全で健康的な県民生活や、機能的で活力あるまちづくりの実現につながります。

**毎月第1水曜日は「エコモビの日」です**  
まずは月に1日でも、「エコモビ」をはじめましょう！

知って得するエコモビ実践ガイド  
エコモビ 実践

愛知県

**エコモビ** でいいこと、いろいろ！

**CO<sub>2</sub>の削減** 意外と大きな削減効果！  
家庭から排出されるCO<sub>2</sub>の約4分の1がクルマによるものですが、例えば、1日10分クルマの利用を控えると、年間で約588kgのCO<sub>2</sub>が削減できます。これは冷暖房を1度調整した場合のCO<sub>2</sub>削減量の約20倍にもなります。

**健康の増進** 継続すればダイエットにも！  
例えば、クルマで約25分の道のりを徒歩と電車で行く場合、カロリー消費量は約2倍<sup>※</sup>になります（3か月毎日往復して、脂肪約1kg分）。クルマで通る方は公共交通などで通る方に対して約1.5倍、肥満（BMI 25以上）の割合が高いというデータもあります。  
※40歳代男性の場合、往復のカロリー消費量70kcal⇒142kcal

**安全・安心** 交通事故リスクの軽減！  
重大な交通事故を起こすリスクは意外高く、運転免許を持っていない方に6人に1人が一生のうち1人人身事故を起こすというデータがあります。日頃から「エコモビ」を実践することは、こうしたリスクの軽減にもつながります。  
※運転免許の取得期間を20年で計算

**他にも**  
・渋滞の緩和  
・公共交通の確保・維持  
・活力のある地域づくりなど

**エコモビ** こんなどき、どうする？

おでかけの経路を調べたいときには？  
「MasS（マーズ）アプリ」が便利です！  
MasSアプリは、電車・バス・タクシー・シェアサイクル・カーシェアリングなど、様々な移動手段を組み合わせたカー1の検索ができるアプリです。移動手段の予約やチケット購入も可能です。おでかけスポットやイベント情報なども知ることができます。上手に活用しておでかけをもっと便利に、楽しめましょう。  
<https://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/action/mass/>

クルマでしか行けないところだけど？  
パークライドや相乗り、カーシェアリングの活用も！  
乗り場までの公共交通がなければ、駅までクルマで行き、そこから公共交通に乗り換えて移動するパークライドや、同じ方向に行く人がいれば複数人車をシェアできます。  
また、近年、カーシェアリング（クルマを所有せず、多数の人でクルマを共同利用するシステム）のステーションの数も増加し、利用しやすくなっています。目的地まで公共交通で行き、そこからカーシェアリングを利用するという方法もあります。

バスがいつ来るのか、わからない？  
「バスロケ」ならバスの遅れもしっかり把握！  
大手バス会社を中心に、バスの運行情報をスマートフォンやパソコンから確認することができるバスロケサービスが数社から提供されています。これを利用して、バスの位置や遅れの情報などを簡単に知ることもできます。

エコドライブでも一定の効果あり！  
クルマだけで行く場合も、無駄なアイドリングを控え、燃費や運転を心がけるエコドライブを実践することで燃費が向上したり、交通事故のリスクを減らしたりすることができます。

愛知県・あいちエコモビリティライフ推進協議会（事務局：愛知県都市・交通局交通対策課）  
TEL 052-954-8126 FAX 052-961-3248 <https://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/>

図：エコ モビリティ ライフ啓発チラシ

#### ◆関係主体

- 実施主体：あいちエコモビリティライフ推進協議会、市、市民
- 連携主体：交通事業者（鉄道、バス、デマンド型交通）

#### ◆実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜実施					継続

-----> : 検討      > : 実施

#### ◆関連し実施する調査等

—

## 基本方針3：地域住民や行政、交通事業者、市内企業等の関係者が協働・連携し、持続可能な地域公共交通を創り、支える環境の形成

### 1) 多様な主体の協働・連携

#### ① 講演会や講習会の開催

##### ◆ 事業概要

講演会や講習会を通し、市内を運行する公共交通の必要性などをより多くの方が知り、市内の公共交通をみんなで支える環境を醸成することで利用促進を図ります。



図：地域公共交通講演会

##### ◆ 関係主体

- 実施主体：市、市民
- 連携主体：交通事業者（鉄道、バス、デマンド型交通、タクシー）、国、愛知県

##### ◆ 実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜検討・実施					継続

⋯⋯⋯ : 検討      → : 実施

##### ◆ 関連し実施する調査等

- ・ 講演会や講習会等の開催状況

#### ② 快適な公共交通の待合環境の創出

##### ◆ 事業概要

きんちゃんバスやデマンド型交通（チョイソコやとみ）の停留所が設置されている主要な公共施設において、待機スペースの設置と停留所周辺の掃除や花壇の設置・維持管理により、快適な乗降環境を創出します。

また、デマンド型交通（チョイソコやとみ）の停留所は地域のニーズ・実情に応じたきめ細かい設定が必要となるため、地域に精通している市民が中心となって検討することで、地域公共交通を自分たちで創り、守り、育てていく環境を醸成します。

##### ◆ 関係主体

- 実施主体：市、市民
- 連携主体：施設管理者、交通事業者（バス、デマンド型交通）

##### ◆ 実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※適宜検討・実施					継続

⋯⋯⋯ : 検討      → : 実施

##### ◆ 関連し実施する調査等

- ・ 取組みの実施状況

## 2) 地域公共交通を創り、支える

### ① 弥富市地域公共交通活性化協議会の開催

#### ◆ 事業概要

学識や行政関係者、市民の代表者、交通事業者が一堂に会し、協働・連携して、計画の立案・計画の実施・計画の評価・計画の改善を繰り返し検討する場として、「弥富市地域公共交通活性化協議会」を年3回程度開催します。



図：弥富市地域公共交通活性化協議会の開催状況

#### ◆ 関係主体

- 実施主体：市、市民、交通事業者（バス、デマンド型交通、タクシー）、国、愛知県、飛島村、木曽岬町

#### ◆ 実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※毎年実施					継続

⋯⋯⋯ : 検討    → : 実施

#### ◆ 関連し実施する調査等

- ・ 協議会の開催状況

### ② 公共交通に関する勉強会の開催

#### ◆ 事業概要

公共交通に関する勉強会を開催し市内の公共交通の現状・問題を理解するとともに、今後の公共交通のあり方を行政と市民が一緒に考えることで、地域公共交通を自分たちで創り、守り、育てていく環境を醸成します。



図：勉強会の様子

#### ◆ 関係主体

- 実施主体：市、市民
- 連携主体：交通事業者（鉄道、バス、デマンド型交通、タクシー）、国、愛知県

#### ◆ 実施スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12	R13~ 継続・長期
※毎年実施					継続

⋯⋯⋯ : 検討    → : 実施

#### ◆ 関連し実施する調査等

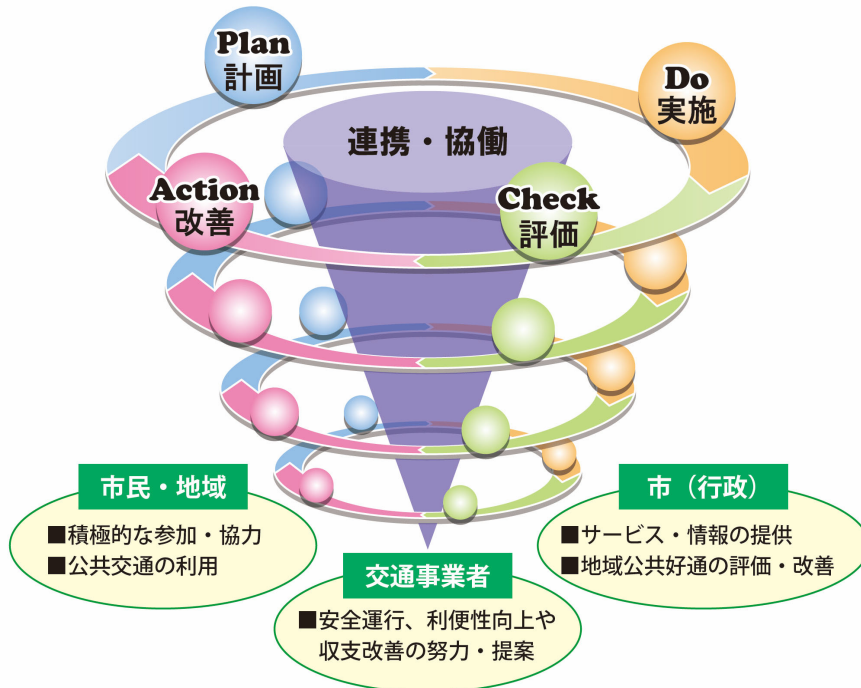
- ・ 勉強会の開催状況



## 7-8 計画の進め方

事業の実施にあたっては、社会情勢や市民のニーズの変化にあわせ事業内容を適宜改善することが必要です。そこで、市民や公共交通事業者、市（行政）等の関係者が協働・連携し、計画の立案（Plan）・計画の実施（Do）・計画の評価（Check）・計画の改善（Action）を繰り返し（PDCAサイクル）、地域公共交通を確保・維持・改善していくものとします。

なお、このPDCAサイクルは、毎年開催する「弥富市地域公共交通活性化協議会」において、「7-7目標を達成するために行う事業及び事業主体・計画期間」において示した“関連し実施する調査等”の結果や事業進捗状況等を基に評価するとともに、目標の達成状況や上位計画の改定内容を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことで推進します。



図：協働と連携、PDCAサイクルのイメージ

表：計画期間全体の評価スケジュール

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画の立案 Plan	→ 計画見直し					→ 計画見直し
計画の実施 Do	→ 事業実施					
計画の評価 Check	→ 進捗・目標	→ 進捗	→ 進捗	→ 進捗	→ 進捗	→ 進捗・目標
計画の改善 Action	→				→ 上位計画との整合性 事業内容・スケジュール等	
備考				第2次 弥富市総合計画 目標年		

表：基本的な1年間のスケジュール

	6月	(10月)	12月	3月
協議会	第1回	(第2回)	第3回	第4回
協議・報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前年度決算</li> <li>●確保維持改善計画(フイーター系統)</li> <li>●前年度第三者評価委員会結果報告</li> <li>●前年度目標達成状況評価</li> </ul> ※適宜必要な事項を追加	※協議事項がある場合に開催  適宜協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>●確保維持改善事業(自己)評価</li> </ul> ※適宜必要な事項を追加  適宜協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次年度予算</li> <li>●次年度事業計画</li> </ul> ※適宜必要な事項を追加  事業計画反映
実施事項	4月～ ◇計画に記載のスケジュールに基づいた施策の展開 ◇事業等の改善検討(市、市民、交通事業者)  4月～翌年3月 ◇利用実態調査(バス事業者、デマンド型交通) ※適宜協議会に報告、目標達成状況評価、事業の改善等検討の基礎資料に活用			
その他	2月頃 ★第三者評価委員会			